

JRの責任産別として  
組織と運動を磨き、  
すべての関係者との対話を通じて  
強しなやかなJR産業を築こう!

https://www.jr-rengo.jp



# JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10  
東興ビル9階  
TEL (NTT) 03-3270-4590  
FAX (NTT) 03-3270-4429  
1部20円(但し組合費に含む)  
●発行者/上村良成 ●編集者/宮野勇馬

facebook  
JR連合

(旧twitter)  
JR連合

## 社会人採用1名が JR北労組(函館地区本部)へ加入

昨年6月以降、  
JR北労組への加入は合計3名

### JR連合に集う 全国8万5千人の仲間は 勇気ある決断を 心より歓迎します!



2026春季生活闘争をはじめとする活動方針を決定

## 第38回中央委員会 ONE TEAMで今年も賃上げ

### 労働条件改善を加速し、人財の確保・定着を

JR連合は、1月28日、大阪市内において、第38回中央委員会を開催し、2026春季生活闘争方針を含む当面する活動方針を決定した。

連合方針に基づき、定昇相当分を含む賃上げ要求1万8000円以上、うち統一べア要求1万2000円以上とする方針を本委員会で決定し、魅力あるJR産業をつくるため、全97単組がONE TEAMで積極果敢に取り組むことを要請した。

また、大会以降新たに加盟した鉄道運輸機構労働組合名古屋ステーション開発労働組合の代表者にそれぞれ加盟証書を手交し、加盟する全97単組が「丸」となると、当面するすべての取り組みを展開する意志統一を図った。

吉田祥司副会長(JR九州労組中央執行委員長)は、冒頭の挨拶で、継続する重大防災防止への決意を述べるとともに、2026春季生活闘争方針案への真摯な討議と急きよ設定された衆院選への対応を要請した。

その後、議長に選出された石田原潔中央委員(JR西労組)は、2026春季生活闘争について、極めて重要な局面であるとの認識を示し、特にグループで働く仲間の処遇改善、産業内格差の是正を力強く推し進める必要がある、そのためにも本委員会で建設的かつ実効性ある討議を要請した。

上村良成会長の挨拶(要旨別掲)の後、来賓として出席した交運共済協会の本田雅明専務理事は、交運共済からこくみん共済coopへの契約移転と、総合共済の制度改定への協力に対して謝辞を述べるとともに、引き続き「JR連合総合共済」の加入促進の取り組みを要請した。

執行部から安全の確立、2026春季生活闘争をはじめとする活動方針案が提



委員会をスムーズに進行した石田原議長

委員会をスムーズに進行した石田原議長は、2026春季生活闘争をはじめとする活動方針案が提

められた後、12人の中央委員から様々な質疑がなされ、活動方針への肉付けがなされた。それらの声に對し、執行部は真摯に耳を傾け、すべての項目に對し、丁寧な答弁を行った。

2026春季生活闘争方針を含むすべての議案は、満場一致の賛同を得て決定した。委員宣言を承認し、上村会長の団結がんばろうで全組合員で活動に取り組み決意を固めた。

起された後、12人の中央委員から様々な質疑がなされ、活動方針への肉付けがなされた。それらの声に對し、執行部は真摯に耳を傾け、すべての項目に對し、丁寧な答弁を行った。

2026春季生活闘争方針を含むすべての議案は、満場一致の賛同を得て決定した。委員宣言を承認し、上村会長の団結がんばろうで全組合員で活動に取り組み決意を固めた。

を皮切りに、加盟各単組において、要求方針が決定されているヤマ場を迎えるのを前に、各組織では会社との交渉が一層熱を帯びている。今春季生活闘争も厳しい闘いとなるが予想されるが、持続可能な魅力あるJR産業を構築するため、JR連合は加盟各単組と一致団結して勝利に向け邁進していく。



名古屋ステーション開発労働組合 鉄道運輸機構労働組合

## 第51回衆議院議員総選挙 最重点候補2人、重点候補14人が当選!

2月8日投票の第51回衆議院議員総選挙にて、最重点候補の泉健太氏(京都3区)、小川淳也氏(香川1区をはじめ、重点候補14人が当選を果たした。

今回の総選挙において、JR連合は118人の候補者を推薦し、うち「国会議員懇談会」に所属していた前議員4人を最重点候補、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属していた前議員40人を重点候補と位置付け、この間のJR連合への政策支援に込めるべく、一丸となって選挙戦を闘った。改めてご支援・ご尽力いただいた組合員・家族のみなさまに御礼申し上げます。



泉健太氏の当選を支えたメンバー

JR連合は今回の結果を受け、課題を検証するとともに、国会議員懇談会および議員フォーラムの体制の強化を図り、政策課題、組織課題の解決に向け取り組んでいく。



仲間と当選を喜ぶ小川淳也氏

※コメントは4面に別掲

## 会長挨拶(要旨)

責任産別として、JR産業の未来を創る決意のもと、当面の主要課題5点について提起する。また、交運共済・本田専務理事にお越しいただいた。新年度のJR連合総合共済の加入促進に向けて、各級機関の最大限の取り組みを要請する。

◇安全の確立について  
福知山線列車事故から21年が経過する。当事務を引き起こしたJR西労組出身として、何よりも安全にこだわっていく。ホンダの創業家・本田宗一郎氏の言葉「安全なくして生産なし」にあるとおり、組合員が安心して働くことのできる環境なくして事業運営は成り立たない。最重要テーマ「JR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」は依然達成できず、昨年以降5人の仲間が命を落とす深刻な状況である。うち3人は熱中症であり、昨今の猛暑下では従来の対策では不十分だ。各職場での臨機応

変な対応をお願いしたい。さらに、JR産業の信頼を失墜しかねない不安全事故や不正が発生しており、JR北海道では強化型保安監査が敷かれる非常事態だ。安全の最後の砦は現場である。労働組合としてのチカラ機能を発揮することを要請する。また、環境変化を踏まえ、10年ぶりとる安全指針の刷新に向けた議論を進め、今年中にお披露目したい。

◇2026春季生活闘争について  
昨年の春季生活闘争では大きな成果を取ったが、十分な賃上げができていない単組も少なくなく、グループ会社や協力会社は人財の確保・定着に苦勞している。JRグループの経営状況は、インバウンドの好調や構造改革により大幅な黒字を計上した。一方で、社会全体では物価高で実質賃金のマイナスが続いており、物価上昇を上回る継続的な賃上げは労使の社会的責務である。



会長 上村良成

また、グループ労組の賃金や処遇改善にも全力をあげる。賃上げ原資の確保には、適正な価格転嫁や運賃・料金の迅速な改正が不可欠だ。引き続き硬直的な制度の改善を求め、労働基準関係法制の見直しについて、高市総理が使用者側の要請を受け、労働時間規制緩和の検討を指示したが、働き方改革に逆行するものであり、人手不足を長時間労働で解消することは経営努力の放棄だ。また、労使コミュニケーションのあり方について、JR東日本の社友会のような親睦団体が労働組合

の機能を果たせるはずはなく、過半数代表への過度な便宜供与は、疑似労働組合の容認につながるかねない。引き続き、労働組合の必要性を訴えていく。

◇男女平等参画と組織の強化  
「男女平等なくして民主主義は存在しえない」というメッセージのとおり、女性がリーダーシップを発揮することで労働組合は一層強くなる。女性が働きやすい職場は誰もが働きやすい職場だ。男女平等参画の推進を通じて、組織と運動を拡大・強化しよう。

## 賃上げの原資を確保し グループを含めた賃金・処遇の改善を

本委員会では、昨年同様、月例賃金総額1万8000円以上の引き上げ(定昇確保+統一べア1万2000円以上)の要求方針を決定し、今年も賃上げにこだわる。「中期労働政策ビジョン」を意識し、魅力あるJR産業をつくるため、全97単組がONE TEAMで取り組む。

組織拡大については、JR東日本で社員の約8割が労働組合未加入という異常な状況が続いている。社友会には安全へのチェック機能などを担うことは到底できず、持続性に疑問がある。一方、新たな仲間の合流や若手の加入といった明るい兆しもある。民主化当該単組は、組織強化を図り、キラリと光る運動を進めていただくことを要請する。

◇産業政策課題について  
JR北海道の経営自立については、北海道新幹線の札幌開業の遅れや黄線区問題の先送りにより事態が深刻化している。国、自治体、事業者が役割を発揮すれば自立は可能だ。

JR四国の経営自立に四国新幹線は欠かせない。財政審が提言する貸付料のあり方は、働く者の創意工夫を否定する内容を含んでおり到底受け入れられない。5月にはシンポジウムを開催し、機運醸成と課題提起を行う。

◇政治について  
第51回衆議院議員選挙について、1月23日の解散は、物価高対策を遅らせる国民生活軽視の「大義なき解散」だ。国民を蔑ろにする与党に政権を委ね続けることはできない。推薦候補者全員が必勝と、働く者のための政治勢力最大化をめざし、一丸となって取り組む。

世界では力による支配や分断が強まっているが、力による現状変更は決して許されない。平和で安定した世界を強く願う。JR産業の持続的成長と幸せを築くため、一致団結して行動することを訴え、挨拶とする。

適切な運賃設定や保守時間の確保に向けた主体的なアプローチが求められている。

# 中央委員・特別中央委員発言(要旨)

## 2026春季生活闘争への決意と組織強化に向けて

中央委員・特別中央委員の発言要旨。鉄構労働組合は、新幹線などの建設を担う技術者集団として、日本の鉄道網を守り発展させていく。思いを同じくするJR連合の一員となつてさらに邁進する所存だ。

◆新幹線ネットワークの構築・建設促進は、最重要テーマ。現状、新幹線建設に對しては工事費の増大や開業延期、環境破壊への懸念など、少子化も相まって必要性を疑問視する否定的な論調が目立つ。新幹線が完

### 菅野一位中央委員【イーストニオン】

◆この1年間で55人の組織拡大を実現。民主的労働運動への理解は広がっており、潜在的な理解者も多く残されている。今後も加入を訴える。

◆近年、新幹線の列車分離、

### 瀧川和真特別中央委員【JR西日本連合グループ】

◆大阪関西万博において、会場内での出店や記念商品開発に取り組んだ。人材確保や熱中症対策などの職場環境についても労使間で協議を重ね、組合員が不安なく業務を遂行できるよう尽力し、多大な成果を収めた。

◆物価上昇や不安定な国際情勢により、組合員の生活や会社経営の先行きが不透明。昨年は、グループ労組との格差は拡大し、経営体力や支払い能力論を背景とした待遇改善のスピード差が浮き彫りとなった。グループ労組では深刻な人手不足が継続しており、業務負荷の増大や時間外・休日労働に苦しむ声が多くあがっている。

◆グループの仲間も、JR産業という社会インフラを

### 吉田朱里中央委員【JR四国労組(男女平等参画)】

◆JR連合が様々な場でジェンダー平等に関するメッセージを発信していることは心強く、感謝。

◆男女平等の推進は民主的な社会の構築に不可欠。男女雇用機会均等法の制定から40年余りが経過したが、男女間賃金格差や女性管理職比率などの課題は依然として残っている。労働組合は実態を把握し、制度の形骸化を防ぐチカラを果たすべき。

◆JR北海道に女性運転士が少ない現状は深刻。性別を問わず誰もが希望する職種で自分らしく輝ける環境を整えることが、労働組合

### 矢田尊弘中央委員【JR西労組(自動車)】

◆福知山線列車事故から21年を迎える。安全最優先の重要性を再確認し、

### 鎗光俊勝中央委員【JR九州労組】

◆激しい採用競争に打ち勝つためには、持続的な賃上げによる他産業との格差是正が不可欠。相応の要求額を掲げ、労務費の適切な価格転嫁を通じてグループ全体へ賃上げ効果を波及させる。

◆2028年度からの定年延長に向け、全組合員が将来展望を描ける制度設計をめざし、労使協議を加速させる。

◆非常事態。社友会を重視し、労働組合のチェック機能を弱めてきた労務施策が、現状を招いた。トップダウンが強く、ガバナンスが崩れている。安全や不正防止には労使一体での取り組みが不可欠。今後安全対策委員会への参画などを通じて交渉力を高める。

◆社友会が社員の声の反映していないとの不満の声がある。会社主導の体制で現場のチェック機能が弱体化しており、安全やリスク管理への影響が危惧される。定着への影響が危惧される。

◆JR連合が健全な労使コミュニケーションと労働組合の重要性を訴えてきたこ

### 田口広大中央委員【JR北労組】

◆現役社員の加入拡大に注力している。定期大会以降3人が加入。研修センター前行動やSNS、動画による情報発信の成果。本人と会い、包み隠さず説明し、信頼を得た。

◆一方、中途採用者の個人情報や他労組に流出し勧誘に使われている点は、大きな問題。コンプライアンス意識が欠如した組織に安全の確立などできるはずもない。4月の新規採用者獲得行動に向けさらなる支援を。

◆国交省による強化型保安

### 渡邊渚中央委員【JR西労組(青・女)】

◆地協活動をJR連合の活動そのものと位置づけ、各地の現状把握と課題共有を重視。JR北労組の定期総会に参加した際、第3組合の違による状況の差に驚いた。

◆今後は研修センター前でのアピール行動に加え、イーストニオンでの青・女結成を機に、箱根以東の民主

### 鈴木教仁中央委員【貨物鉄産労】

◆昨今の相次ぐ脱線事故や輪軸の不正問題による信頼低下を深く反省。昨日も南長岡駅構内で重大な労災事故が発生。20代の若手社員が両足切断という重傷を負った。安全最優先の取り

◆整備された事故車両両保存施設の意義として「犠牲者への哀悼」「命の大切さの継承」「将来の安全への誓い」などがある。事故を決して風化させず、安全確立に向けて不断の努力で取り組む。

◆これまでの賃上げの流れを維持し、ベースアップや働き方の改善に主眼を置くことが重要。賃上げを、人財への投資、と位置づけ、全組合員が一体となって機運を高める必要がある。

◆バス運転士および整備士の確保について、コロナ禍以降の離職や深刻な人手不足の背景には、長時間労働でありながら全産業平均を下回る低賃金の実態がある。

◆特定技能外国人の受け入れについては、単なる労働力確保ではなく、貴重な人財として尊重する視点が重要。持続可能な産業とするためには、値下げ競争から脱却し、適正な運賃を原資とした

◆労働条件改善が待たなし。改正交通政策基本法に基づく国や自治体への支援要請を継続し、バス産業の反攻姿勢に向け、さらなる支援を。

◆物価上昇や人財流出への強い危機感から、提起された産別方針は産業の魅力を高めるために譲れない水準。要員不足を理由に固定化された勤務体系の改善は、経営が正面から向き合うべき課題。

◆地域公共交通の維持には政治の力が不可欠。政策実現のために政治活動への理解と協力を求めていく。

◆整備された事故車両両保存施設の意義として「犠牲者への哀悼」「命の大切さの継承」「将来の安全への誓い」などがある。事故を決して風化させず、安全確立に向けて不断の努力で取り組む。

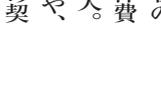
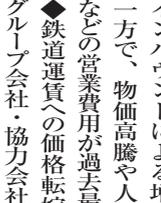
### 中野圭司中央委員【JR四国労組】

◆四国新幹線の実現に向けて25万筆を超える署名協力の感謝。四国の未来をつなぐ重要な社会基盤である。

◆昨年発生した2件の死亡労災を重く受け止める。熱中症対策に実

◆効用ある措置を労使で検討すべき。特急車内での刺傷事件も

◆物価上昇や人財流出への強い危機感から、提起された産別方針は産業の魅力を高めるために譲れない水準。要員不足を理由に固定化された勤務体系の改善は、経営が正面から向き合うべき課題。



◆急な業院選や政界再編により、現場では判断に窮する場面や不満の声が生じている。一定の段階でJR連合が中心となって様々な判断を。

◆女性役員の登用・育成が依然課題。意識醸成や能力向上の取り組み継続を。他産別との連携も含め活動深度化を。

◆地域交通法の施行に伴い、芸備線や美祿線が動きが生じている。北陸新幹線延伸ルートも再検証がなされている。組合員の不安を払拭し持続可能な公共交通を確立するため、さらなる支援を。

◆コロナ禍において政治の重要性を痛感した。衆院選は絶対負けられない戦い。最重点候補をはじめとする推薦候補全員の必勝を期す。

### 吉本大輝中央委員【JR東海ユニオン】

◆4年連続で発生する死亡労災の流れを本年で必ず止める。重大労災防止の指針の実践やアサーションを徹底させる。産業全体の安全底上げに向けた連携と実効性ある安全指針の改訂を。

◆他組織の動向を注視しつつ、昨年結成された名古屋ステーション開発労組を歓迎し、JR連合への総結集をめざす。民主化支援の前進に向けた地協活動の活性化を。

◆物価上昇や人財流出への強い危機感から、提起された産別方針は産業の魅力を高めるために譲れない水準。要員不足を理由に固定化された勤務体系の改善は、経営が正面から向き合うべき課題。

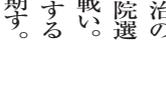
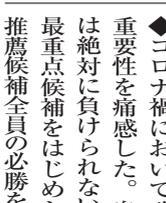
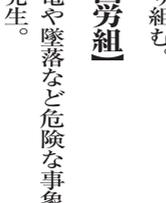
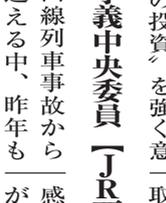
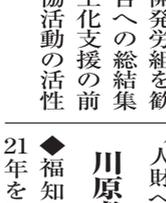
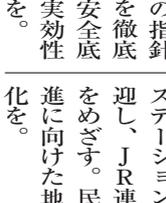
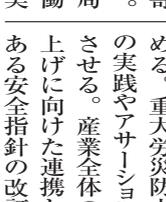
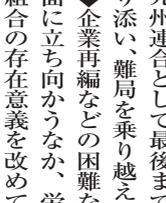
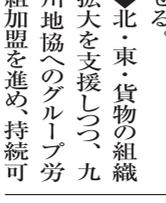
◆整備された事故車両両保存施設の意義として「犠牲者への哀悼」「命の大切さの継承」「将来の安全への誓い」などがある。事故を決して風化させず、安全確立に向けて不断の努力で取り組む。

◆北・東・貨物の組織拡大を支援しつつ、九州地協へのグループ労組加盟を進め、持続可

◆女性役員の登用・育成が依然課題。意識醸成や能力向上の取り組み継続を。他産別との連携も含め活動深度化を。

◆地域交通法の施行に伴い、芸備線や美祿線が動きが生じている。北陸新幹線延伸ルートも再検証がなされている。組合員の不安を払拭し持続可能な公共交通を確立するため、さらなる支援を。

◆コロナ禍において政治の重要性を痛感した。衆院選は絶対負けられない戦い。最重点候補をはじめとする推薦候補全員の必勝を期す。



執行部答弁 (要旨)

山積する課題の解決に向け 各種活動を引き続き展開

谷口昌隆組織局長

組織運動は、組合員の声を起点に解決へ動き、その結果を返すことの繰り返しである。労協協議や政治への訴えも、すべて組合員目線での民主的・建設的に進めることが重要。一方で、声を聞き逃すと脱退をも招くという教訓を重く受け止めるべき。仲間と役割を分担し、注力点を見極めながら、持続可能な労働運動を一緒に展開していきたい。

青・女世代から民主化に



○ 住吉一家労働政策局長
関する発言がなされること自体に大きな意義があり、継承していくべき重要な取り組みである。基本組織は民主化を現在進行形の課題として青・女世代に伝承してほしい。JR連合も材料を提供していく。全国の仲間と連携し、計画中の取り組みやアピール行動をしっかりと推進していく。

住吉一家労働政策局長



◆ 春季生活闘争は、物価上昇や実質賃金低下、人手不足が続く中、人財の確保・定着を最大の課題と位置付け、統一方針を最低基準と明記した。各単組には積極的な上積みや要請する。グループへの波及や価格転嫁、運賃改定の環境改善にも取り組む。本年1月に施行された取適法は春季生活闘争の時期を意識しており、同法の理解浸透と適正取引の推進を労使一体で進める。

◆ 労政審における労働基準関係法制見直しでは、労働組合以外の親睦団体との労使協定を容認しかねない議論が進んでいたため、見解の表明を重ねてきた。過半数が發揮できるよう議論してきた。特にグループ労組の政策課題解決を強化し、連合の協力も得て早期解決を図る方針である。名古屋ステーション開発労組の結成は大きな成果。引き続きJR連合への結集をめざしていく。

◆ グループ会社はJR産業の発展に不可欠な存在。安全確立、経営改善、組織の強化・拡大など、各場面でグループ労組は大きな役割を果たしている。近年は事業再編が頻発し、組合再編も進んでいるが、急激な変化の中で組合員を守り、支えていくことが労働組合の役割。その視点を大切に、共に考えていく。

◆ 新結成されたイーストユオオン青・女を歓迎する。育成と連携を重視し、青年女性委員会や単組との交流を通じて人のつながりを強め、組織拡大につなげたい。民主化闘争や地協活動への参画にも感謝。



◆ 30周年を迎えるユースラリーは、将来を担う人材を育てるJR連合の財産的な取り組み。各単組の積極的な参画を要請する。

◆ 石川敏也産業政策局長
新幹線について、北陸新幹線のルート問題をはじめ各地で課題が顕在化し、世論や財政審の指摘なども含

◆ 貨物について、経営自立やモーダルシフト推進、線路使用料に関する会社間協定の締結など課題は山積。保守作業の問合いを確保する

総括答弁 (要旨)

活動を通じて得た経験を発信し さらなる組織の強化・拡大を

事務局長 今井孝治



◆ 安全確立の取り組み
脱線や停電事象が相次ぐ中で会社へのチェック機能が十分に働いていない現状や、安全指針を職場での実効性あるものに改訂すべきという強い決意が各委員から示された。不安全事故の発生状況を見れば、健全な労使関係によるチェック機能が重要であることは明白である。私たちは経験則として、現場の発意で事故や労災を防ぐことを知っている。しかし、厳格なルール遵守が求められる職場では、自由な発言が抑制されている場合もある。だからこそ、声を発してチェック機能を果たすことも

◆ 2026春季生活闘争
格差是正と人手不足を訴える切実な声を受け止めた。春季生活闘争とは単なる賃金交渉ではなく、総合生活改善闘争である。仮に制度面や回答で即座に十分な結果が得られなくとも、多様な社員のニーズを汲み取り、会社と

◆ 組織の強化・拡大
組織拡大や新採対応、青年女性委員会の地協での積極的な活動、男女平等参画を通じた民主化への提言など、前向きな報告があった。新たに鉄構労と名古屋ステーション開発労組を仲間

◆ 政治
与党の総選挙を含めた政治空気が変わらなければ、私たちが6本の柱を推進する理由として、労働組合の必要性とも言える5つの視点が必要である。すなわち、①多様な人が支える産業だから組合員のニーズを把握し続けること、②ルールを重んじる文化だから声をあげられる組織であること、③人財育成として活動を通じ視野を広げていくこと、④働く者の声を国の政策に反映させる重要な機会が奪われてきたこと、⑤地域も含めた社会のために連合・交連協と連携していき、といった視点である。

◆ 宮野勇馬企画局長
鉄道安全について、福知山線列車事故車両の保存施設

◆ 安全確立の取り組み
脱線や停電事象が相次ぐ中で会社へのチェック機能が十分に働いていない現状や、安全指針を職場での実効性あるものに改訂すべきという強い決意が各委員から示された。不安全事故の発生状況を見れば、健全な労使関係によるチェック機能が重要であることは明白である。私たちは経験則として、現場の発意で事故や労災を防ぐことを知っている。しかし、厳格なルール遵守が求められる職場では、自由な発言が抑制されている場合もある。だからこそ、声を発してチェック機能を果たすことも

◆ 2026春季生活闘争
格差是正と人手不足を訴える切実な声を受け止めた。春季生活闘争とは単なる賃金交渉ではなく、総合生活改善闘争である。仮に制度面や回答で即座に十分な結果が得られなくとも、多様な社員のニーズを汲み取り、会社と

◆ 組織の強化・拡大
組織拡大や新採対応、青年女性委員会の地協での積極的な活動、男女平等参画を通じた民主化への提言など、前向きな報告があった。新たに鉄構労と名古屋ステーション開発労組を仲間

◆ 政治
与党の総選挙を含めた政治空気が変わらなければ、私たちが6本の柱を推進する理由として、労働組合の必要性とも言える5つの視点が必要である。すなわち、①多様な人が支える産業だから組合員のニーズを把握し続けること、②ルールを重んじる文化だから声をあげられる組織であること、③人財育成として活動を通じ視野を広げていくこと、④働く者の声を国の政策に反映させる重要な機会が奪われてきたこと、⑤地域も含めた社会のために連合・交連協と連携していき、といった視点である。

◆ 宮野勇馬企画局長
鉄道安全について、福知山線列車事故車両の保存施設



◆ 宮野勇馬企画局長
鉄道安全について、福知山線列車事故車両の保存施設



### 集会アピール

本日、私たち JR グループ労組連絡会は、「TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル」において、2026 春闘総決起集会を開催し、「ONE TEAM で今年も 賃上げ!」のスローガンのもと、人財の確保・定着を最大の課題と位置付け、組合員の生活改善と産業の持続的発展を実現するために、全加盟単組が ONE TEAM で今次闘争を闘い抜く決意を固めあった。

現下の国内情勢は、円安、原材料高などを背景に、食品、エネルギー、日用品など、幅広い品目のコスト上昇を招き、高水準の物価上昇が長期にわたり継続している。2025 春季生活闘争では、2 年連続で 5% を超える賃上げが実現したにも関わらず、物価を加味した実質賃金は長期間にわたり低下を続け、国民生活が改善したという実感はない。

JR 連合においても、2025 春季生活闘争は社会水準に見劣りしない成果を獲得したものの、十分な賃上げができなかった単組もあり、格差は拡大している。

JR 産業が持続的に発展するためには、人財の確保・定着が不可欠であり、労働力移動が活発化するなど雇用情勢が大きく変化する現状においては、労使で危機感を共有し、社会変容や勤労観の変化に柔軟に対応しなくてはならない。また、社会水準や他産業に見劣りしない賃上げの継続と労働条件の改善を通じて、組合員の期待に応えなくてはならない。

持続的な賃上げを実現させるため、この間、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」や「パートナーシップ構築宣言」の理解促進に取り組んできた。また、本年 1 月に施行された「中小受託取引適正化法」では、適正取引のさらなる推進が期待されており、理解・浸透に努めていく。この間の取り組みにより、JR 産業内での取引適正化や価格転嫁は一定の改善傾向にあるものの、まだまだ道半ばである。引き続き、全単組が連携して基盤整備に取り組み、消費者目線の価格転嫁の推進や社会全体の理解促進など、社会的な課題の解決に向けて全力を挙げる。

2026 春季生活闘争は、現下の社会情勢等を踏まえ、定期昇給の確保に加え、12,000 円以上の統一ベア要求等により、月例賃金総額 18,000 円以上の賃上げを要求額の最低基準として設定した。持続的な賃上げ、処遇改善、地位の向上を通じて、人財の確保・定着を実現させるとともに、産業内外の格差を是正し、魅力ある JR 産業を築き上げるため、JR 連合に集うすべての加盟単組が ONE TEAM で闘い抜き、最大限の成果を勝ち取る。

労働組合があるからこそ、働くものが主体的に参画して賃金や労働条件を決定することができる。2026 春季生活闘争の機会を捉え、職場討議や労使交渉を活用して労働組合の存在意義を高め、組織拡大と労使関係の充実に取り組み、JR 連合への総結集に向けて仲間と共に未来を切り拓こう。

2026 年 2 月 10 日

JR グループ労組連絡会  
2026 春闘総決起集会

## JRグループ労組連絡会2026春闘総決起集会



### 人財の確保・定着はJRグループ労使の最大の課題 「今年も賃上げ」を実現しよう

2026 春季生活闘争勝利に向け団結がんばろう

JR グループ労組連絡会は 2 月 10 日、大阪市内で 2026 春闘総決起集会を開催し、月例賃金総額 1 万 8 000 円以上、統一ベア要求 1 万 2 000 円以上などとする JR 連合 2026 春季生活闘争方針に基づき、ONE TEAM で統闘争を展開する意思を固めあった。

主催者を代表して挨拶した海上弓彦代表幹事(ジェイアール西日本伊勢丹労組書記長)は、「2026 春季生活闘争は、賃上げの流れを一時的なブームとする

のか、構造的な賃上げを定着させるのか、極めて重要な取り組みとなる」と訴え、「JR グループ労組連絡会の連携を活かして全体での大きなうねりとなり、人への投資が最優先課題」ということを訴えていく」と力強く呼びかけた。

JR 連合を代表して挨拶した上村会長は、「JR 産業の賃金は、他産業と比べても決して高い水準とは言えない」と訴えた。

住吉一家事務局長(JR 連合労働政策局長)による 2026 春季生活闘争方針の説明を受けた後、各分科会の代表 6 人から「賃上げの継続」「価格転嫁・適正取引の推進」「産業内外との格差是正」など、2026 春季生活闘争に向けた決意が表明された。

最後に「持続的な賃上げを通じて、人財の確保・定着を実現するとともに、JR 連合への総結集に向けて



海上代表幹事

「JR グループ労組連絡会の連携を活かして全体での大きなうねりとなり、人への投資が最優先課題」ということを訴えていく」と力強く呼びかけた。

JR 連合を代表して挨拶した上村会長は、「JR 産業の賃金は、他産業と比べても決して高い水準とは言えない」と訴えた。

住吉一家事務局長(JR 連合労働政策局長)による 2026 春季生活闘争方針の説明を受けた後、各分科会の代表 6 人から「賃上げの継続」「価格転嫁・適正取引の推進」「産業内外との格差是正」など、2026 春季生活闘争に向けた決意が表明された。

最後に「持続的な賃上げを通じて、人財の確保・定着を実現するとともに、JR 連合への総結集に向けて

こくみん共済 NEWS

### 「たすけあいの輪をむすぶ」

こくみん共済 coop は、次のステージへ

公式キャラクター ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

## こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

### 【決意表明をした各分科会代表者】

(写真左から)

- 〈工務〉 大鉄工業労組 金下貴之委員長
- 〈運輸〉 四国鉄道機械ユニオン 松岡翔汰委員長
- 〈陸運〉 南関東ロジスティクス労組 諏訪瑛勇執行委員長
- 〈物販〉 ジェイアール西日本フードサービスネット労組 國分荘輔副委員長
- 〈ホテル〉 JR九州ホテルズアンドリゾート労組 永利嘉規委員長
- 〈一般〉 ジェイアール東海情報システム労組 山田直哉委員長

最後に「持続的な賃上げを通じて、人財の確保・定着を実現するとともに、JR 連合への総結集に向けて

### 第51回衆議院議員総選挙結果を踏まえたコメント

2026 年 2 月 9 日

第 51 回衆議院議員総選挙において、推薦候補の必勝に向けてご支援ご尽力いただいた組合員や家族の皆さまに御礼を申し上げる。また、献身的に奮闘されたすべての関係者にも敬意を表する。

昨年 7 月に実施された参議院議員選挙において、与党が大きく議席を減らし、過半数を割り込んだ。国民が自民党政治に「NO」を突きつけた形となったが、その後、10 月に日本初の女性総理大臣として高市早苗氏が指名されると、自民党は連立政権の枠組みを変え、1 月 23 日の通常国会冒頭に衆議院解散・総選挙に踏み切った。この判断は、多くの国民が物価高に苦しむ中、その対策の裏付けとなる 2026 年度予算案の審議に悪影響を与えるものであり、国民の期待を裏切った。

そのような状況下で、立憲民主党は、対立軸を作るべく公明党と新党「中道改革連合」を立ち上げた。急転直下の動きで組合員には戸惑いもあったが、新たな選択肢を示したものとして推薦候補者が中道に所属することを受け止めた。また、選挙戦の中盤には、連合と交差労協からそれぞれ檄が発せられ、交通運輸産業で働く仲間を中心に、一体感を醸成することに寄与することになった。

JR 連合は、記録的な積雪により輸送に乱れが生じていた中ではあったが、時あたかも 2026 春季生活闘争に向けた機関会議や職場討議が開催される時期であり、多くの組合員と政治活動に関する意思統一を図ることができた。そして、各単組からの推薦に基づき、連合の方針および JR 連合の掲げる運動理念や政策に賛同する人物本位の候補者を推薦のうえ、全国で当選に向けた取り組みを展開してきた。最重点候補者では、JR 連合国会議員懇談会の副会長である泉健太氏(京都 3 区)や事務局長である小川淳也氏(香川 1 区)が当選するとともに、重点候補者でも「21 世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する仲間たちが、苦しい選挙戦であったが当選を果たした。しかし、この間、議員懇談会副会長として深い知見から国会における地域公共交通政策の議論をリードしてきた伴野豊氏(愛知 8 区)をはじめ、すべての最重点候補者を再び国政の場に送ることができなかったことは痛恨の極みである。また、JR 連合の運動に理解を示し政策実現にご尽力をいただいた多くのフォーラム所属重点候補者が善戦及ばず惜敗となった悔しさは筆舌に尽くし難い。

本選挙は歴史的な結果をもたらし、初めて単独の政党が衆議院の 3 分の 2 の議席を占めることとなった。しかし、選挙期間における政策の議論は不十分であったと言わざるを得ず、政権与党は対話を通じた丁寧な国会運営を行わなければならない。一方で、寒波が吹きすさぶ真冬の選挙であったが、投票率は上昇傾向にあり、政治への関心の高まりが見られた。JR 連合は、議員懇やフォーラム所属議員との連携をむしろ強化し、さらにプレッセンスを高めることを通じて、これまで同様、国の公共交通に対するグランドデザインや予算の配分構造、税制や整備新幹線などの重要課題の解消を関係主体との対話をもって推進し、JR 産業を持続的に成長させていく決意をいただいた多くのフォーラム所属重点候補者が善戦及ばず惜敗となった悔しさは筆舌に尽くし難い。

本選挙は歴史的な結果をもたらし、初めて単独の政党が衆議院の 3 分の 2 の議席を占めることとなった。しかし、選挙期間における政策の議論は不十分であったと言わざるを得ず、政権与党は対話を通じた丁寧な国会運営を行わなければならない。一方で、寒波が吹きすさぶ真冬の選挙であったが、投票率は上昇傾向にあり、政治への関心の高まりが見られた。JR 連合は、議員懇やフォーラム所属議員との連携をむしろ強化し、さらにプレッセンスを高めることを通じて、これまで同様、国の公共交通に対するグランドデザインや予算の配分構造、税制や整備新幹線などの重要課題の解消を関係主体との対話をもって推進し、JR 産業を持続的に成長させていく決意をいただいた多くのフォーラム所属重点候補者が善戦及ばず惜敗となった悔しさは筆舌に尽くし難い。

以上

### もっとつながろう

## グループ労組めぐり

### 奈良ホテル労働組合

奈良ホテル労働組合は、2025年に結成70周年という大きな節目を迎えました。1955年の設立以来、働きがいや労働条件の向上、助け合いの精神を大切に活動を続けてきました。2019年にJR連合に加盟し、グループ内外とのつながりもより一層深めています。

70周年を記念して昨年9月に開催したパーティーには、組合員やご家族、前執行部、奈良ホテルや関連会社を支えてくださった来賓の皆様もご出席いただき、これまでの歩みを振り返るとともに今後への思いを新たにする機会となりました。

奈良ホテルは、都会の喧騒から離れた落ち着いた環境の中で、クラシックホテルとして伝統を守りながら、組合員一同が最先端の接客やサービス向上に力を注いでいます。お客様に「奈良ホテルなら

では、の非日常体験をお届けするため、日々自己研鑽に励んでいます。

2026年はホテルにとっても大きな転機の年です。1月4日から新館の改装と本館のメンテナンス工事のため、約半年間全館休館となり、組合員はグループホテルや関連施設で研修を受けるなど、普段とは異なる環境で貴重な経験を重ねています。また、離れた職場で勤務する組合員同士のつながりを強めるため、新たにLINE公式アカウントを導入し、情報共有やコミュニケーションの円滑化に役立っています。

「CS(顧客満足)はES(従業員満足)なくして成り立たない」という信念のもと、今後も安心して働ける環境づくりと組合員の結束強化に努め、奈良ホテルのさらなる発展に貢献してまいります。引き続き、皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

JR西日本連合

JR西日本グループ労働組合連合会  
奈良ホテル労働組合